

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひろまなコグ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の送迎時や、LINEを活用して活動報告を行うことにより、療育の内容を保護者の方に知ってもらうようにしている。	個々に合わせた課題を準備し、実際に子供たちが取り組んだ様子を、送迎に来られた保護者に直接お伝えしたり、LINEを活用してお伝えすることで、取り組んだことをご家庭で褒めていただき、実際に家庭での支援に繋げて頂いたり、自己肯定感を高めることやご家庭での会話の一つのきっかけになるように心がけている。	一部、メッセージが見えにくいことがあったことや保護者の方からの相談の内容を送ってもいいのかというご意見があったので、内容の改善とお気軽にご相談いただけることの周知を取り組んでいく。
2	共通のプログラムを繰り返すのではなく、個々に合わせた課題設定をしているので、本人が必要な力をつけるための療育プログラムの提供を取り組んでいる。	本人の状況の把握や標準化された検査からのアセスメントを実施し、目標やプログラムの設定を行うようにしている。また、保護者の方と目標の設定を確認している。	本人と目標の確認をすることや一緒に目標を立てる機会を増やしていく。
3	本人たちの社会(学校等)での困り感を減らせるようにベースの力をつけられるように取り組んでいる。	保護者及び本人から学校等での様子の聞き取りや、現在困っていることについて把握を行っている。アプローチする課題設定や本人の興味関心以外の内容を提示することで視野を広げたり会話のバリエーションを増やせるように取り組んでいる。	対人や集団の場で発揮できるように、その前段階の場をイメージして提供することを目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での送迎を行っていない。	保護者の方に送迎をお願いしている。駐車場の数に限りがあり、送り迎えの時間に駐車場の停めにくさがある。	駐車場の利用の仕方などの案内を作成して配布するようにする。体験利用時や担当者会議時等は、少し時間をずらして来所していただくよう、お願いをする。
2	保護者同士の交流の場の提供がない。	保護者会や父母の会等の開催ができておらず、同じ時間にご利用いただいている保護者同士しか会う機会がない。	保護者の方も参加できる企画の実施を検討する。
3	現状、地域との交流が少ない。	高学年になると「通っていることを知られたくない」という方もおられるため、個人情報の保護を考えると地域と交流するような支援を行うことができていない。	保護者や本人の希望を確認しながら、地域に出ていくような支援プログラムも検討する。